

令和元年8月9日
沖縄防衛局

お知らせ

普天間飛行場における、平成30年度の回転翼機等の飛行状況調査結果がまとまりましたので、別添のとおりお知らせします。

1 調査目的

平成19年8月の「普天間飛行場に係る場周経路の再検討及び更なる可能な安全対策についての検討に関する報告書」（以下「報告書」という。）を踏まえ、普天間飛行場における回転翼機の飛行状況を把握するため、平成22年1月から本調査を実施している。

また、MV-22については、当該型機が平成24年度に配備された以降、調査を実施している。

2 調査概要及び結果

(1) 調査期間：平成30年4月1日から平成31年3月28日まで（土日、祝日（米軍の祝日を含む。）及び地元行事日を除く。）

(2) 調査方法：航跡観測装置及び映像観測装置（高所カメラ）を用いて普天間飛行場周辺を飛行する回転翼機等の航跡を測定し、飛行航跡図を作成。

(3) 調査結果

別添「月別飛行航跡集約図」のとおり。

※1 本調査の精度については、測定手法の技術的な限界から、実際の航空機の飛行と調査結果の航跡とは最大で約200m又はそれ以上の誤差が生じる可能性がある。

※2 飛行航跡図に描画された航跡の線の幅は約20mであり、個々の航空機の大きさと一致しているものではない。

3 米側への申入れ

本調査結果を踏まえ、防衛省から米軍に対し、報告書に基づく措置を引き続き履行することを求め、米軍から、引き続き報告書を遵守し、地元にあぼす騒音の軽減対策を講じるよう努めるとともに、航空機搭乗員等への継続的な教育を通して、常に飛行の安全確保を優先する旨の回答を得ている。

以上

(問い合わせ先)

沖縄防衛局企画部地方調整課

課長 池田 欽吾

電話098-921-8131(内線203)